

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

保護者及び地域住民が一定の責任を持って学校運営に参画し、学校教育活動の充実に向け、学校、保護者及び地域住民が協働し、「学校づくりビジョン」の実現を図ります。

取り組みとしては、地域理解・地域貢献学習を主軸とし、地域住民との連携を積極的に図って推進し、地域に関わる学習と地域と連携した活動を展開していきます。活動を通して、生徒が地域に対する関心を高めたり見直したりするなどして、郷土を愛する心を育むとともに自己の生き方を考える力を一層育んでいきます。

（1）活動内容

- ① 学校訪問、授業や行事の参観などにより、教育活動への参画と評価を行い、学校を支援します。
- ② 地域の声を学校へ、教育活動の様子を地域へと情報の橋渡しをします。
- ③ 学校の教育活動を支援するゲストティーチャー等の必要な地域の人材や団体と学校の橋渡しをします。
- ④ 学校自己評価の結果や学校づくりビジョンに対する学校関係者評価をします。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

（1）教育活動の実践事例

① 生徒の活動・学力及び生活実態を把握する

本年度、運営協議会を4回開催しました。会議の冒頭では、校長より学校の取組と生徒の様子を説明した後、各委員のみなさんに授業を参観していただきました。

また、体育祭や文化祭、総合的な学習の学習発表会等の学校行事の参観を通して、学校の教育活動と生徒の様子を把握していただき、落ち着いた学習状況や学習環境に対する評価とともに改善に向けたご助言をしていただきました。

10月の第2回運営協議会では、全国学力学習状況調査の結果について、学力と学習状況の両面から概要と生徒の強みと弱みの分析内容を報告し、学校・家庭・地域における課題と改善に向けた方策について、意見交換を図りました。

② 地域の教育力を生かした特色ある教育活動

総合的な学習の時間を軸にして、各学年、教科や他の領域との関連を図った地域学習を実施しました。

コミュニティスクールの取り組みが5年目となり、どの学年も前年度の活動を継承しつつ、一部取組内容を見直し整理と充実に努めました。

第1学年

○目的・地域の歴史や環境、産業、防災を学び、地域を見直す。

・地域の取組（行事）に参加し、地域に貢献する。

○コースおよび学習内容

【大矢知PAST過去から学ぶ】1・2組

・久留倍官衙遺跡について学び、大矢知地区に歴史上で重要な遺跡があることを知る。

・地域の産業（大矢知そうめん）について学び、伝統産業のあり方について自分なりの考えを持つ。



【八郷“FUTURE”未来を拓く】3・6組

- ・八郷地区の歴史や街づくりについて学ぶ。
- ・八郷フェスタ in 伊坂ダムのスタッフとして企画を手伝うことで、地域の街づくりに貢献する。

【防災“PRESENT”今を生きる】4・5組

- ・地域の防災対策などについて学ぶことで、地域の防災について理解を深める。

コース別学習体験的学習

- ・久留倍学習 久留倍官衙遺跡の見学
地場産業調査 大矢知そうめんに関する講義
- ・八郷地区
街づくりについての講義 伊坂ダムについて講義
平津資料館、八郷資料館現地調査
八郷フェスタ in 伊坂ダムへの参加
- ・環境防災調査
地域防災についての講義 学校防災倉庫見学説明
北消防署・広域防災拠点センター現地調査

自分たちが暮らす土地の環境や歴史、文化を地域の人から学び、深め、知ることで地域を愛し、大切にしていきたいことを学びました。そして地域の一員として何ができるのかについて考えました。また地域理解学習もこれまでに調べたことや、実際に見てきたことや学んだことを各班でまとめました。これまでに調べたことや、グループ内発表に向けてみんなが一生懸命に取り組むことができました。

第2学年

○目的・「働くこと」の意義や、自らの進路、将来について考えるきっかけにする。

- ・事業所の方やお客様と関わる中であいさつ、マナー、コミュニケーションなどの大切さを学び、日々の学校生活の中でも実践できるようにする。
- ・職場という社会に出ることで、自分自身の課題を見つけ、克服のためにどのような力をつけなければならないかを考える。
- ・地域の事業所と関わる中で、地域に対する関心を深め、地域の方とのふれあいを大切にする。

○職場体験

6月の3日間、職場体験学習を行いました。生徒たちは、普段できない貴重なことを経験し、多くのことを学び、一生懸命に頑張る姿がたくさん見られました。また、事後学習では、それぞれが、各自の振り返りを行いながら、個人新聞を作成しました。



○その道のプロに聞く！

講師の先生としてお越しいただいて、講話をしていただきました。子どもたちは、目をキラキラさせながら話を聞いていました。

どの講師の方のお話も面白く、また貴重なお話でした。生徒たちは、自分の今後の生活に活かしていけるようにしていきたいと感じることができました。

また、各クラスの代表が、自らの職場体験の成果を報告しました。



第3学年

○学習内容

【地域防災学習：HUG】

- ・HUG（避難所運営ゲーム）を行う。

【清掃活動：山城道路と北勢バイパス】

- ・山城線(県道 64 号)、北勢バイパス(国道 1 号線)の清掃活動を地域の方とともに進行。
- ・清掃活動ポスターの作成と地域へ掲示要請、道路調べ



NPO 法人みえ減災啓発支援ネットの方や、八郷福寿会の方から、地域貢献学習の一環として避難所営ゲーム「HUG」を行いました。

「HUG」とは、避難者の年齢や性別、それぞれが抱える事情などが書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図に適切に配置をし、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。子どもたちは、役割を分担して意見を出し合い、カードをどこに配置するべきかを話し合いました。



また、最後のまとめでは、班ごとにゲームを体験して気づいたことを発表し、「思った以上に困っている人がたくさんいることが分かった。」「事前にこういった経験をして避難所の運営の仕方を学ぶべきだと思った。」などの意見が出ていました。地域のために、自分にできることは何かを考えることができました。

・地域清掃

地域の方々と共に北勢バイパスと山城道路の清掃活動を行いました。普段何気なく通っている道路にも、よく見るとたくさんゴミが落ちていることがわかりました。中には、タバコを一人で123本も拾った生徒もいました。ゴミを捨てるような人間ではなく、ゴミを減らすために、環境を少しでもよくするために、自分たちに何かできることはないかと考える人になっていきたいと思うことができました。

2月10日に、各学年の生徒が1年間の総合的な学習の時間に取り組んだ内容の学習発表会を行いました。発表会には、コミュニティスクール運営協議会の委員の方々にも参観していただき評価していただきました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取り組みによる効果

コミュニティスクールの指定が5年目となり、生徒が地域に出て活動したり、地域行事に参加したりする機会が増えるとともに、ゲストティーチャー等で学校の教育活動に携わっていただいたり、行事等に足を運んでいただいたりした保護者や地域の方も年々増えています。どの学年も各活動後には、様々な場面で地域の多くの方から高い評価の言葉をいただきました。また、11月に開催された「八郷フェスタ in 伊坂」には、生徒とともに、八郷・大矢知両地区のPTA役員の方々にも参加していただくなど、PTA活動との連携も進みました。

2学期末に取った学校教育診断の集計結果では、【特色ある教育課程の編成】の「総合的な学習の時間や行事等は特色ある教育活動を行っている（生徒：興味や関心を持って取り組める）」の設問で、生徒が3.5ポイント、保護者が3.2ポイントと引き続き高い評価を得ました。

また【充実した学校生活】、【保護者や地域の人たちとの連携】の項目でも、昨年度に引き続き、生徒が3.4ポイント、保護者が3.1ポイントと生徒・保護者ともに高い評価を得ました。

さらに、4月に実施された全国学力・学習状況調査では、地域の行事への参加が40.2ポイント、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の問いに対する回答が37.1ポイントと全国を大きく上回る結果となりました。

これらの結果は、総合的な学習の時間を中心に、地域の方々や保護者の温かい支援や協力もあり、地域に関わる学習活動を充実させた成果であるととらえています。

3 今後に向けて

(1) 生徒の現状から見える課題

授業や行事の参観を通して、運営協議会委員の方々から、「子どもたちは学習によく参加していて本当によく落ち着いて整然としている」、「校舎が古くても自分たちでよくしようという気持ちが表れている」、「教室で男女が寄せ合って自然に座っているのが感心する」、「文化祭の合唱では、聴く姿勢に感心した」、「地域行事の時に決められたこと以外でも頼むとすぐに動いてくれた」といったお褒めの言葉をいただきました。

課題としては、「どちらかという当てはまらない」「当てはまらない」の合計が全国平均より高いポイントの項目の中で「将来の夢や目標を持っていますか」「学校に行くのは楽しいと思いますか」「読書は好きですか」「新聞を読んでいますか」が挙げられます。

また、「人前で話したり発表したりすることを恥ずかしがる傾向がある」、「スマホ・家庭学習の時間、読書時間の少なさについては、小学校と連携して取り組む必要がある」といったことが挙げられました。

教職員内でも、子どもたちの困難さに立ち向かう力が年々弱まっていることを課題として共有しています。来年度以降も、挨拶を始めとした他者とのコミュニケーション能力を身につけさせることをねらいとした取り組みが必要であると考えます。

(2) 教員の参画と運営協議会の組織について

運営協議会が組織されて5年目となり、年々コミュニティスクールの取り組みが教員の中に定着し、教員の参画意識も徐々に高まり、主体的に地域関係者と連携し、計画・実施できるようになってきました。今後の課題としては、学習・図書・交通安全指導等の各分野における組織づくりが挙げられます。

(3) 地域とともにある学校づくりの推進

全国学力・学習状況調査では地域の行事への参加が40.2ポイント、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の問いに対する回答が37.1ポイントと全国を大きく上回る結果となりました。コミュニティスクールの取り組みがより定着し、子どもたちの地域への関心や郷土愛が高まった成果であるととらえています。

次年度以降も、子どもたちが地域に出て貢献できる機会をより充実させるとともに、運営協議会を中心に、学校と地域の双方向の取組をより推進し、地域とともにある学校づくりを進めるとともに、子どもたちに生きる力を育んでいきたいと考えます。

別紙B

令和元年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立朝明中学校

委員長 毛利 良一

校長 海戸田 恵一

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営委員会 (25日)	<ul style="list-style-type: none"> ・市教育委員会より委嘱状交付 ・運営協議会組織の確立 ・学校づくりビジョンの承認 ・年間計画と活動方針の検討 ・授業の参観
6		
7		
8		
9	体育祭参観 (11日)	
10	第2回運営協議会 (26日)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の結果報告 ・CS教育活動の取組計画 (地域学習) の説明 ・授業の参観
11	文化祭参観 (1日) 第3回運営協議会 (16日)	<ul style="list-style-type: none"> ・CS教育活動の取組経過 (地域学習) の報告 ・授業の参観
12		
1		
2	学習発表会参観 (10日) 第4回運営協議会 (10日)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会の参観 ・今年度の活動報告 ・次年度の活動計画 (学校づくりビジョン (案) について ・学校教育診断集計結果・学校関係者評価 ・次年度運営協議会組織について
3	卒業式参列 (6日)	